

授 業 科 目 名	教育実習指導	教 員 名	有嶋 誠 城戸佐智子 杉田 康之 (実務経験のある教員)	免許・資格 との 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	
授 業 形 態	演習	担当形態	複数	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
科 目 番 号	JIS301	配当年次	3 年後期		小幼コース	必修
単 位 数	1 単位				幼保コース	必修
科 目	教育実践に関する科目（幼稚園及び小学校）					
施 行 規 則 に 定める科目区分 又 は 事 項 等	教育実習					
一 般 目 標	事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。これらを通して教育実習の意義を理解する。 小学校及び幼稚園における教育実習を円滑に、より充実したものにするために事前指導を行い、実習を通して学び、発見した今後の課題等を事後指導の中で確認し、今後の学修に生かすことを目指している。					
到 達 目 標	(1) 事前指導・事後指導に関する事項 1) 教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 ①小学校、幼稚園教育実習の意義・心得・責務を理解する。 ②小学校、幼稚園教育実習の目標・内容・活動を把握する。 ③小学校、幼稚園教育実習の特色と実際を把握する。 2) 教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。 ①実習体験からの学びを省察する。 ②今後の学習の課題を認識する。 (2) 学習指導及び学級経営に関する事項 ※小学校教諭 1) 学習指導要領及び児童の実態等を踏まえた適切な学習指導案を作成し、授業を実践することができる。 2) 学習指導に必要な基礎的技術（話法・板書・学習形態・授業展開・環境構成など）や情報機器の活用法について理解することができる。 3) 学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 4) 教科指導以外の様々な活動の場面で適切に児童と関わるすることができる。 (3) 保育内容の指導及び学級経営に関する事項 ※幼稚園教諭、保育士 1) 幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成することができる。 2) 保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成など）や情報機器の活用法について理解することができる。 3) 学級担任の役割と職務内容を实地に即して理解している。 4) 様々な活動の場面で適切に幼児と関わるすることができる。					
授 業 の 概 要	教育実習は、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。 一定の実践的指導力を有する指導教員のもとで体験を積み、学校教育の実際を体験的・総合的に理解し、教育実践ならびに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身につける。 教育実習Ⅰ（小学校）、教育実習Ⅰ（幼稚園）・教育実習Ⅱ（幼稚園）の実施にあたって、「教育実習の意義と目的、留意すべき事項等」について指導する。小学校に関しては小学校教員経験者・教					

	育実習担当教員により「児童や学校の実態」「小学校教育における現代的課題」などの講話および「小学校教科指導の実際」など実践的な側面での指導を行う。幼稚園に関しては幼稚園教諭経験者・教育実習担当教員による「幼児や園の実態」「幼児教育における現代的課題」「幼小連携の視点」等の講話を行う。また、教育実習全般に関わる講話「教育実習の心構えと留意事項」「学級経営と学習指導」等も実施する。 実習終了後には作成した指導案や実習記録簿を参考に体験を発表し、反省点を明らかにする。 アクティブラーニングとして話し合い活動や振り返り、レポート等を取り入れる。
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」「4. 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。
授 業 計 画	第1回：小学校教育実習の意義と心得 実習生としての行動・態度・遵守事項（目標①） 第2回：小学校教育参観の視点と方法 各教科等の概要（目標①, ②） 第3回：小学校教育の特色と課題1 特色ある学校経営と小学校教育の現状及び課題（目標③） 第4回：小学校教育の特色と課題2 小学校教育の一日参観（目標③） 第5回：各教科等の目標及び指導方法（目標②, ③） 第6回：学習指導案及び参観授業に基づく研究協議（目標②, ③） 第7回：小学校の学級経営・生徒指導（目標③） 第8回：幼稚園教育実習の意義と心得 実習生としての行動・態度・遵守事項（目標①） 第9回：幼稚園教育実習の現状と教師の役割（目標①, ②） 第10回：幼稚園教育の特色と課題 発達に応じた指導計画の作成（目標③） 第11回：保育日誌の書き方、保育指導案の書き方（目標③） 第12回：幼稚園における学外事前指導計画及び観察実習（4日間）（目標③） 第13回：幼稚園における学外指導の反省と課題の明確化（目標③） 第14回：小学校及び幼稚園教育実習の反省とまとめ（目標④, ⑤） 第15回：小学校及び幼稚園教育実習体験報告会 発表及び質疑応答（目標④, ⑤） 各学校から届く実習後の評価に基づき、学生一人一人に対して個別指導を行う。
学生に対する評価	教育実習記録簿、レポート及び取り組み態度
時間外の学習について	予習：小学校および幼稚園教育実習に関する書籍を読む。 復習：今後の大学での学びの方向性を考える。
テキスト	資料を随時配布する。
参考書・参考資料等	『小学校学習指導要領（平成29年告示）』 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』 『幼稚園教育要領（平成29年告示）』
担当者からのメッセージ	教育実習の事前事後指導として実施される科目である。教育実習に実際に出かける前に教員となる意義・意識・覚悟を再確認してほしい。また、事後の反省・報告会を下級生と共に今後に生かしてもらいたい。
オフィスアワー	有嶋：毎週火曜日 13:00～16:00 杉田：毎週木曜日 13:00～16:00
備考	担当教員は、小学校・中学校における教員・校長としての経験を活かし、実習指導を行う。